

伊豆市立修善寺中学校 学校だより



高め合い、認め合う生徒
～探究する 自律する 協働する～

11月号

住所：伊豆市柏久保395-1
電話：0558-72-0219
発行：令和6年11月28日
文責：鈴木 利宏

《向上》と《昇華》…己の向上をめざして！

学校から見渡す山々も黄色や赤に色付いてきました。紅葉の色付き具合は、昼夜の寒暖差に左右されるとのことです。日中は暖かい日も多いですが、朝晩はすっかり冬の寒さになってきました。学校でも、感染症の流行は見られないものの、風邪症状で不調を訴える生徒が目立ってきました。うがいや手洗い、換気等基本的な対策を行いながら、残りの2学期を過ごしていきたいと思えます。

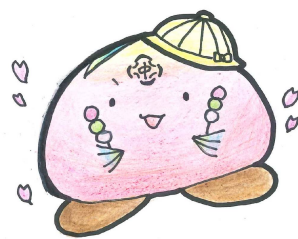
さて、第4ステージ「向上」は、図らずも先頃発表された後期生徒会テーマ「昇華」と同じような思いの込められた言葉です。4月から様々な経験を重ね、蓄えてきた力をバネに、自分自身が「向上」できるような学校生活を送ってほしいと思えます。3年生は、学力調査や説明会等、目先のことが気になる時期ですが、長い目で自分の生き方を考える、正に「自律」が求められています。1年生や2年生は、過日ドリームマップ作成や高校見学を行いました。自分自身を掘り下げたり、意欲的に学ぶ高校生を見たりして、自分の将来を「探究」するきっかけになりました。何より、多様な外部の方々や地域や保護者の方々に関わっていただきながら「協働」して学習活動を進められているところがありがたいことです。

これから年の瀬の慌ただしい時期を迎えますが、ご家庭や地域の皆さまにおかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

後期生徒会テーマは《昇華》

11月5日（火）に後期生徒会任命式が行われ、後期の活動がスタートしました。

新会長から発表された後期のテーマは「昇華」。理科では、固体が液体の状態を経ずに直接気体になる現象を指す用語ですが、昇華にはもう一つ「高みへ跳び越えること、次のステージへ跳び越えること」という意味があります。本校は3月で閉校となりますが、伊豆中学校という次のステージ・高みに向けて生徒会活動に邁進しよう、という思いが込められています。新しい役員・委員長を中心とした今後の取組に期待します。



台湾の中学生と交流



11月20日（水）に3年2組の英語で台湾の中学生（台北市五常中学校）とのオンライン交流を行いました。外国語の目標のひとつに「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う」があります。ICT環境が整備されてきた中、こうした力を育む場として、ALT派遣会社と連携して実施しました。生徒たちは、事前に準備したスライドを使いながら物怖じせず英語で会話をして、自己紹介や趣味の話などに盛り上がっていました。

栄光の軌跡 (部活動の大会やコンクールの結果を掲載します:敬称略)

- 10/6 秋季ソフトテニス大会個人 準優勝
- 同上 第3位
- 同上 第3位
- 10/6 伊豆地区中体連新人剣道大会 準優勝
- 10/13 伊豆の国市卓球大会シングルス2年の部 準優勝
- 10/13 同上 第3位
- 10/13 同上 1年の部 第3位
- 10/19 卓球秋季ランキング戦個人 第4位
- 10/19 同上 第5位
- 10/26 田方地区1年生野球大会 優勝

12月の行事予定

- 1日(日) 県総合防災訓練
- 10日(火) 全校集会
- 12日(木) 読み聞かせ
- 17日(火)～20日(金) 三者面談
- 24日(火) 2学期終業式
- 25日(水)～1月6日(月) 冬季休業
- *1月7日(火) 3学期始業式

〈11/30 第25回しずおか市町対抗駅伝大会〉
本校からは3人がエントリーされております。
伊豆市代表として頑張ってください。

〈PTA活動〉

- ※10月1日より2年生、11月1日より1年生のあいさつ運動を行いました。早朝からのご協力ありがとうございました。
- ※11月23日(土)伊豆市青少年健全育成大会に門傳成人教育委員長様にご参加いただきました。
- ※12月16日(月)に市内中学校PTA代表が参集し伊豆中学校のPTAについて協議を行い、本校からは会長他3名で参加します。今後何回か協議の場を持ちます。

諸連絡

★生活の中で困っていること、心配なこと、悩んでいること等ありましたらご連絡ください。生徒はもちろんのこと、保護者の方の相談も対応いたします。

SC (スクールカウンセラー) 坂井 稔 12/5 12/12 12/19

SSW (スクールソーシャルワーカー) 佐藤雅美 12/4 12/11 12/18

心の相談員 内田茂代 原則火・木・金

《うれしかったこと》

先日、駅前交番の方が見えられ「駅の近くで体の不自由な方が路上に倒れていた所を、通りかかりの中学生4～5人が歩道にその方を移動させ、大人が来るまで声を掛け続けてくれていた。」とお礼方々お話がありました。以前にも「女子中学生が南小入口付近で座り込んでいたお年寄りに声を掛けてくれていた」とお電話をいただいたこともありました。

困っている人を見かけたときに、自然と手を差し伸べることは、大人でも簡単にできることではありません。こういったお話をいただけたる生徒が本校にいることは、とてもうれしく思いました。